



石巻港復興だより 第5号

(石巻港湾ひばりの通信28号)

— 港湾は人の心も結んでいます —

この1年の歩み

平成24年度は復旧工事が本格化すると共に港湾利用も回復を見せ、まさしく復興元年の1年となりました。石巻港湾事務所の1年をダイジェストで振り返ります！

4月 秋田県から5名、富山県から3名の応援を受け、再任用職員も含めて昨年度より2名増の25人体制でスタート



6月 石巻港災害復旧工事着工式を挙行し、石巻港の復興に向けてアピール

8月 国土交通省東北地方整備局と共催で一般応募者および港湾利用者に向けて石巻港復旧見学会開催



10月 女川湾口防波堤災害復旧工事着工式挙行

12月 震災後初の企業進出となる昭和瀝青株式会社の営業所が開設



2月 雲雀野地区廃棄物埋立護岸一次仮締切完了、震災廃棄物焼却灰等の埋立開始

本復旧工事が完了しました

臨港道路釜北線，雲雀野中央線，雲雀野中央埠頭荷捌地，表浜港防波堤などの災害復旧工事が完了しました。



① 釜北線：舗装修繕



② 雲雀野中央埠頭荷捌地：嵩上げ

部分供用を開始しました

女川港石浜地区岸壁，荻浜港物揚場，中島埠頭岸壁，南浜埠頭岸壁の一部の復旧が完了し，供用を開始しました。



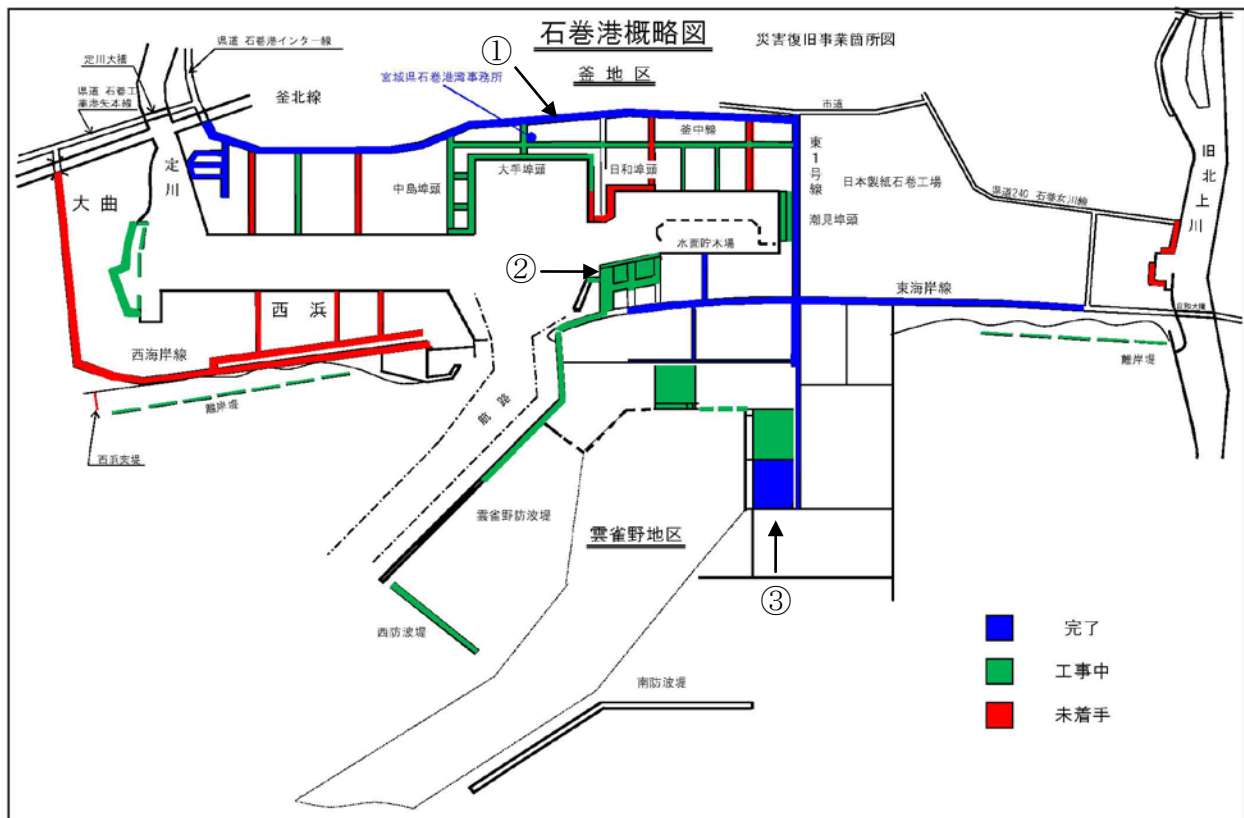
荻浜港：嵩上げ



③ 南浜埠頭：嵩上げ

今後の計画

港湾施設の復旧工事は平成25年度中の着手を目指します。



放射線について安全性を 引き続き確認しています

石巻港では、大気中の放射線量は週 2 回（火曜日・金曜日）・海水中の放射線濃度は概ね 2 週間に 1 回程度で計測し、港の安全性を確認しています。

大気中の放射線量

月	各月平均値	各月最大値
2月	0.058	0.065
3月	0.060	0.067
4月	0.056	0.058
5月	0.061	0.074
6月	0.058	0.065
7月	0.053	0.061
8月	0.053	0.057
9月	0.047	0.052
10月	0.052	0.057
11月	0.051	0.061
12月	0.051	0.059
1月	0.048	0.059
2月	0.053	0.057

(単位：μSv/時)

海水中の放射線濃度

月	放射性ヨウ素	放射性セシウム
2月	不検出	不検出
3月	不検出	不検出
4月	不検出	不検出
5月	不検出	不検出
6月	不検出	不検出
7月	不検出	不検出
8月	不検出	不検出
9月	不検出	不検出
10月	不検出	不検出
11月	不検出	不検出
12月	不検出	不検出
1月	不検出	不検出
2月	不検出	不検出

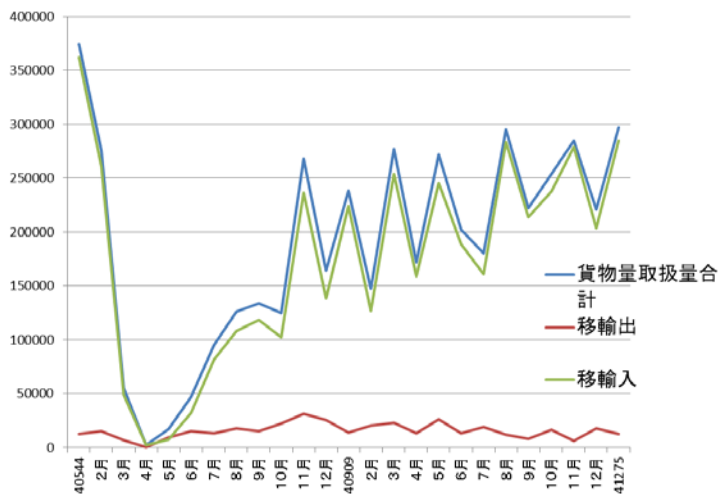
大気中の放射線量として観測された最大値は 0.074 です。この値は、1 年間継続的に受け続けた場合でも、国際放射線防護委員会（ICRP）が勧告した自然放射線や医療による放射線を除いた一般人の通常時被曝基準値の 1 mSv/年を下回っています。

また、海水調査においても放射性物質は計測以降全て不検出となっており、海上においても放射線の影響は受けていないと考えられます。

貨物取扱量が上昇トレンドに

石巻港の取扱貨物量は下図「石巻港の取扱貨物量推移」のとおりで、取扱貨物量全体で見ると震災以降回復基調に入りその後変動しつつも上昇トレンドにあります。

石巻港貨物取扱量推移(H23～現在)



今年度の 2 隻の客船が入港しました

今年度予定されていた客船（2 隻）の寄港がありました。

各関係機関におかれましては、ご協力に感謝いたします。

来年度も客船の入港を予定しております。

「にっぽん丸」

平成 24 年 9 月 24 日（月）入港



(写真は入港時に撮影)

「ばしふいっくびいなす」
平成 24 年 9 月 26 日（水）入港



(写真は入港時に撮影)

自治法派遣職員

宮城県では、震災直後から地方自治法の規程に基づき、県外の自治体から県職員の派遣による人的支援を頂いております。

当事務所には秋田県・富山県の県職員が配属されており、平成 23 年 6 月から総勢 25 名の職員が、宮城県職員として災害復旧業務等に従事しております。



所長あいさつ

私どもが所管する石巻港や管内地方港湾は、東日本大震災により甚大な被害を受けました。

震災発生から 2 年経過し、鋭意復旧工事を進めておりますが、中島 3 号・4 号バース、南浜 2 号バースが使用可能となるなど、順次工事が完了しております。

港湾立地企業の皆様、関係機関の皆様のご理解・ご協力と工事施工業者様のご努力に改めて感謝申し上げます。

今後は、防潮堤の設置について、平成 27 年度完成を目指し、事業を進めて参りますので、ご協力のほど、重ねてよろしくお願い申し上げます。

編集後記

制作段階でスタッフと様々な議論を行いました。石巻港と女川港が本格的な工事に着手したこともあり、港内と地方港のその後の復旧状況をトップ面に載せましたのでご覧ください。

復旧・復興道半ばですが、職員一丸となりがんばります。

また、来年度はこの「ひばりの通信」を複数回発行したいと思います。

編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

986-0845 石巻市中島町 17-2

電話：0225-95-6271（総務班）

0225-95-6272（港政班）

0225-95-6251（工務班）

0225-95-0167（工務班）

FAX：0225-95-6273

E-MAIL：iskown@pref.miyagi.jp

港湾の復旧状況等をホームページ上でも公開しております。是非ご覧ください。

HPアドレス

<http://www.pref.miyagi.jp/is-kouwan/>